５月休校中の課題―３年

教科	内容	学習方法とアドバイス	目安時間	提出等
国語	①ワーク（新国語の学習）P24 まで ②単元別漢字学習 P8～P17 ③ぎゅっぎゅっと総まとめ P16～P51	①教科書を見ながら（すでに読んであるはず）問題を解く。答え合わせをして、重要なポイントに印をつけたりする。 ②まず漢字をなぞりながら覚えて書く。（後日漢字テストあり。）丁寧に！ ③１日４ページくらいで進める。答え合わせをしたら、「要点をまとめよう」を読み、重要なところに線を引く。解答の「ワンポイント解説」も読む。	①6 時間 ②3 時間 ③6 時間	①②③ 6 月 1 日
数学	①2 年生「三角形と四角形」 ②2 年生「確率」 ③3 年生「多項式」	①②プリントを教科書や答えを見ながら進め、プリントが終わったらワークを仕上げる。その後単元テストに取り組む。 ③プリントを教科書や答えを見ながら進め、演習プリントとワークにも取り組む。 ※詳細は「3 年生のみなさんへ」	①５時間 ②７時間 ③１８時間	①5/20 ②5/27 ③提出はなし。授業に持参する。
英語	①２年の復習プリント１枚 ②３年の教科書３－①、３－②、３－③、４－①、４－②、４－③、４－④の予習ノートの作成 ③ビンゴ No,11 から No,20 まで記入 ④ジョイフルワーク P6～P23	①答え合わせまでやって解説をよく読んでください。 ②本文を写し、新出単語の意味、品詞、発音記号を忘れずに記入しましょう。 ③意味を確認しながら、きちんと記入する。日付は実際に記入した日付を記入のこと。 ④左上の解説をよく読んで取り組みましょう。答え合わせをし、解説をよく読んでおきましょう。	①1 時間 ②７時間 ③1 時間 ④7 時間	①6 月 1 日 ノート、ビンゴ、ワークは集めません。6 月からの授業のためにきちんと取り組みましょう。
社会	①歴史の教科書 P.212～257 ②歴史の完全学習 2・3　P.62～83 ③公民のプリント１枚、公民の完全学習 p.44～49 ④3 年間の総整理問題集 p.6～69	①教科書を読み、ノートにまとめる。教科書右下の「説明しましょう」もやる。 ②教科書を見ながらで良いのでやる。丸付け、直しもする。 ③教科書を見ながらで良いのでやる。完全学習は丸付け、直しもする。 ④これは提出の必要はありませんが、地理、歴史の復習をして知識を定着させましょう。	①9 時間 ②4 時間 ③2 時間 ④＋αの時間	①②③ 6 月 1 日
理科	ワーク　1・2 年の復習	・1 年生の復習(P.2～14、P.34～44)を解き、丸付け、直しまで行う。 ５月は１年生の内容を完璧にしよう！ ※余裕があれば２年生の内容にも取り組みましょう。	9 時間(1 年内容のみ)	

音楽	音楽プリント３年 「花」を歌おう	プリントをよく読んで進めて下さい。 音源を探せない場合は、授業が始まってから取り組みますので心配いりません。	2 時間	初回授業
美術	果物・野菜・コップを組み合わせての鉛筆デッサン	自宅にある果物・野菜・コップを組み合わせて鉛筆デッサンをしましょう。今まで行ったデッサンなどを思い出し、頑張って本物に近づけるよう頑張ってください。３つのモチーフは、必ず机などの平らな場所に置いてください。	2 時間	初回授業
保体				
技術・家庭	技術：生物育成分野 プリント１枚	プリントに記載してある注意事項に従って、教科書を参考に取組む。	1,2 時間	来週以降 配信で連絡
学年	①時間割作成 ②上級学校研究 と進路についての話し合い	①プリントの科目カードを切り離して、休校中の自分の時間割を作成する。 ②自分が興味をもっている高校や専修学校等のホームページで教育内容やアクセスなどを調べ、夏休み以降の見学の計画を立てる。 「未来にはばたく中学３年生」、「よみうり進学メディア」を読み、保護者と進路について話し合う。 ＊「高校受験案内」（前年度までのもの・冊子）の貸し出しを希望する人は申し出てください。		提出なし。

★登校日には課題についての質問ができます。

家庭学習の取り組み方

必ず読んで、実行しよう！！

1、毎日学習する習慣をくずさないようにしよう

この課題は学校の授業の代わりに取り組むものです。早めに課題を終わらせようというのではなく、平日は授業があるつもりで必ず毎日学習に取り組んでください。

普段通りに起床し、学校の授業があるつもりで８：４５から机に向かうようにしましょう。５０分集中して取り組み、１０分休憩するリズムで行うとよいでしょう。

2、1日 50 分×5時間は学習しよう

一つの教科をまとめて学習するのではなく、学校の時間割のように１日で数教科に取り組めるように、１週間の時間割を自分で作成しましょう。

★週当たりの教科の時間数

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保体	技家
１年	4	3	4	3	4	1.5	1.5	3	2
２年	4	3	3	4	4	1	1	3	2
３年	3	4	4	4	4	1	1	3	1

もちろん普段のように、夕方から夜の家庭学習も継続すること。

★その他の家庭学習例

・その日の予定の課題のやり残しをやる。

・問題集などで間違えたところをもう一度やる。

・課題の先の範囲の教科書を読んだりワークを進めたりする。

3、集中できる環境を作って学習しよう

学校の教室と同じように周囲は勉強道具だけにして学習に取り組みましょう。その時間は漫画、テレビ、携帯電話〔スマホ〕、ゲーム等は絶対に見ないというルールを自分で決めることが大切です。そのためにも集中力が途切れてしまうものは近くに置かずに学習に集中できる環境を作りましょう。

寝ていた時の服装ではなく、学習を始める前にきちんと着替えることも大切です。七中の制服やジャージを着て勉強するのもよいでしょう。

4、必ず課題すべてに取り組もう

全員がこれらの学習をすべて終了させていることを前提に、６月から新学年の学習が始まるので、必ず取り組んでください。課題の確認テストも行う予定です。ただし、教科書を見たり調べたりしてもわからないところがあった場合は、授業が始まってから質問ができるので、安心してください。メモをしておきましょう。

その他

前年度の教科書, ノート, ワーク等（返却されたものも含め）は、今後も学習に使用するので、絶対に捨てないようにしてください。